

いとまん市議会だより

第102号
平成29年6月5日発行

=平成29年第1回(3月)定例会=

糸満ハーレー



糸満ハーレー・名城ハーリー開催!!

旧暦5月4日ユッカヌヒの5月29日に、大漁と航海安全を祈願し、糸満ハーレー、名城ハーリーが行われました。

名城ハーリー



◆◆◆ 平成29年 第1回定例会議案等処理結果 ◆◆◆

事件番号	件名	議決結果
議案第1号	平成29年度糸満市一般会計予算	原案可決
議案第2号	平成29年度糸満市人育成事業特別会計予算	〃
議案第3号	平成29年度糸満市国民健康保険事業特別会計予算	〃
議案第4号	平成29年度糸満市介護保険特別会計予算	〃
議案第5号	平成29年度糸満市公共下水道事業特別会計予算	〃
議案第6号	平成29年度糸満漁港ふれあい公園事業特別会計予算	〃
議案第7号	平成29年度糸満市土地区画整理事業特別会計予算	〃
議案第8号	平成29年度糸満市後期高齢者医療特別会計予算	〃
議案第9号	平成29年度糸満市農業集落排水事業特別会計予算	〃
議案第10号	平成29年度糸満市水道事業会計予算	〃
議案第11号	平成28年度糸満市一般会計補正予算(第6号)	〃
議案第12号	平成28年度糸満市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	〃
議案第13号	平成28年度糸満市介護保険特別会計補正予算(第4号)	〃
議案第14号	平成28年度糸満市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第15号	平成28年度糸満市土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第16号	平成28年度糸満市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第17号	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の制定について	〃
議案第18号	糸満市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	〃
議案第19号	糸満市部設置条例の一部を改正する条例について	〃
議案第20号	糸満市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	〃
議案第21号	証人等の費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第22号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第23号	糸満市職員定数条例の一部を改正する条例について	〃
議案第24号	糸満市職員の育児休業等に関する条例及び糸満市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第25号	糸満市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について	〃
議案第26号	糸満市都市公園条例の一部を改正する条例について	〃
議案第27号	糸満市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用に係る利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	〃
議案第28号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第29号	糸満市と豊見城市との間の公共下水道事業の事務委託に関する協議について	原案可決
議案第30号	糸満市指定金融機関の指定について	〃
議案第31号	市道の路線廃止及び認定について	〃

事件番号	件名	議決結果
議案第32号	専決処分の承認について(糸満市税条例等の一部を改正する条例)	承認
議員提出議案第7号	「議案第1号 平成29年度糸満市一般会計予算」に対する附帯決議の提出について	否決
議員提出議案第8号	「議案第1号 平成29年度糸満市一般会計予算」に対する附帯決議の提出について	原案可決
	離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書について	採択
議員提出議案第1号	別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する意見書の提出について	原案可決
	子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める陳情書	採択
議員提出議案第2号	子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める意見書の提出について	原案可決
	貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める陳情書	採択
議員提出議案第3号	貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める意見書の提出について	原案可決
	「無料低額診療事業の保険薬局への拡充を政府に求める意見書」提出を求める陳情書	採択
議員提出議案第4号	無料低額診療事業の保険薬局への拡充を政府に求める意見書の提出について	原案可決
	介護保険制度の見直しに対する陳情書	採択
議員提出議案第5号	介護保険制度の見直しに対する意見書の提出について	原案可決
	「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心、安全の介護保障を国の責任で実現するよう求める陳情書	採択
議員提出議案第6号	「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心、安全の介護保障を国の責任で実現するよう求める意見書の提出について	原案可決
	改正農業委員会法に係る条例対応等についての要請	採択
	女性農業者の農業委員への登用促進に関する要請	採択
	議員派遣の件	決定
	平成29年度における平成25年6月の行政視察に関する調査経費について	決定
	閉会中の継続審査(調査)の申し出について	決定
	「沖縄の民意を尊重し、地方自治の堅持を日本政府に求める意見書」の採択を求める陳情	継続審査
	国の出先機関の予算・人員体制の拡充を求める陳情	〃
	沖縄県認可外保育園「4つの政策提言」の県機関との連携について(陳情)	〃
	所得税法56条および57条を見直す意見書提出を求める陳情書	〃
	所得税法56条廃止の意見書提出を求める陳情書	〃
	陳情処理に関する陳情者への結果報告の明瞭化を求める陳情	〃
	糸満市議会常任委員会会議録のホームページ上での掲載を求める事についての陳情書	〃
	議会基本条例制定について(陳情)	〃
	一般質問時の市当局の答弁の改善について(陳情)	〃
	早期の議会報告会開催について	〃

意見書等

第1回定例会では7件の意見書等を可決しました。

別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、法務大臣、
厚生労働大臣

子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、財務大臣、
総務大臣、厚生労働大臣

貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、財務大臣、
法務大臣、厚生労働大臣

無料低額診療事業の保険薬局への拡充を政府に求める意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、財務大臣、
総務大臣、厚生労働大臣

介護保険制度の見直しに対する意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、財務大臣、
法務大臣、厚生労働大臣

「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心、安全の介護保障を国の責任で実現するよう求める意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、財務大臣、
総務大臣、厚生労働大臣

議員提出議案第8号

議案第1号 平成29年度糸満市一般会計予算に対する附帯決議

原案可決

平成29年度糸満市一般会計予算は歳入歳出251億5,098万5,000円と提案され、その中の観光農園事業に関して施設管理委託料1,138万7,000円の予算が組まれている。これは、糸満市観光農園の施設管理に対する施設管理委託料である。

しかし、現在の施設の状況としては、農業技術普及交流施設(研修棟・温室館)は、一部小動物ふれあい場として不適切な使用となっている。果樹育苗施設(ビニールハウス)は、苗床ではなく用具置き場として不適切な使用となっている。果樹温室栽培施設(ビニールハウス)は、9棟のうち農家が使用している6棟以外の3棟は放置されたままである。地域食材供給施設(レストラン)及び、フルーツ加工施設(パーラー)は閉鎖状態である。また、施設全体を見てもパークゴルフ場は荒れ放題、公募の中で目玉事業のふれあい動物園事業は撤退、園内の多くは雑草が生い茂り十分に管理されているとはいいがたい。

以上の内容を踏まえ平成29年度糸満市一般会計予算の執行については、議会として以下の意見を附帯する。

記

1、観光農園施設全体の現状は十分な管理体制がとられているとはいいがたく、市は施設の所有者として調査し指導を徹底すること。

以上決議する。

平成29年3月22日

糸 満 市 議 会



平成29年度一般会計予算 歳入歳出251億5,098万円 【前年度比マイナス3.3%】

原案可決

第1回定例会は、3月1日から3月22日までの22日間の日程で開催されました。同定例会には、市長から平成29年度糸満市一般会計予算などの議案32件の提出がありました。また、議員提出議案として意見書6件及び附帯決議2件の提出がありました。議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

平成29年度一般会計 予算当初予算

本案は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ251億5098万円とするものです。前年度当初予算と比較すると、8億4901万円の減となります。主な新規事業は次のとおりです。

平成29年第1回 (3月)定例会

○議会映像インターネット配信事業
147万円

○議場音響設備更新事業
2513万円

○糸満市総合防災訓練実施事業
138万円

○延長保育事業
3359万円

○さとうきび安定生産確立対策事業
369万円

○与座コミュニティ供用施設改修事業
87万5000円

○安田多原線整備事業
1103万円

○米須小学校校舎改築事業
4697万円

○糸満南小学校校舎増築事業
1億5643万円

糸満市子ども医療費 助成条例の一部を改 正する条例について

本案は「児童福祉法等の一部を改正する法律」が施行されることに伴い、子ども医療費の助成対象者の範囲を変更する必要があるため、条例の一部を改正するものです。

教育委員会委員の 任命について

本案は、現委員の久保田曉氏の任期が本年3月31日をもって任期満了することに伴い、引き続き同氏を任命するため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第4条第2項の規定により、議会の同意を求められたものです。

糸満市特定教育・保育 施設及び特定地域型保 育事業の利用に係る利 用者負担に関する条例 の一部を改正する条例 について

本案は、市立幼稚園の利用に係る利用者負担額の滞納に関する措置の規定を設けることにより、適切な対応を行うため、本条例の一部を改正するものです。



交通渋滞の緩和が期待される(瀬長交差点)

建設部長 瀬長交差点から、現在のような形で今の331号を通って行く。現在、混雑をしているので、高速道路から来るものを高架にすることで、そのまま基地内に入っていく。糸満側から那覇に行く場合には従来どおり現在の国道331号を通っていく。糸満から浦添の以北に行く場合は瀬長交差点から基地内へ行くところに側道が出て来るので、側道から入って高架に行く。那覇に行く部分と浦添に行く部分の2つ、新たに高速道路というか小緑道路に乗ることができるので、交通混雑は抜本的に解決できると考えている。

企画開発部長 ②不妊治療に対する県補助に伴う自己負担額への助成を行っている。また、子育て世帯に対しては、こども医療費助成、未熟児養育医療費助成、ひとり親家庭等医療費助成がある。

新垣 若者が集まるまち、まちを活性化するための政策チームをつくることを考えているか伺いたい。

本市の人口をふやす政策について



新垣 勇太 議員

①若い世代をふやすための政策、また具体的な取り組みについて。②新婚世帯及び子育て世帯への助成金について伺う。

市長 ①就労機会の創出を図るため、情報通信関連企業を初めとする企業誘致の推進、青年新規就業者等の育成確保を図るための経営支援など幅広く取り組んでいく。



子育て支援の充実を

市長 非常に重要な課題と考えている。新年度以降に、土地利用のあり方も含めて抜本的に検討していきたいと思っている。また、都市マスタープランについても見直しをする予定であり、解決するには少々時間がかかるが提案についてはプロジェクトとして取り組んでいきたい。

新垣 南風原町長が困っている子育て世代にサポートしたいという思いがあつて、医療費を中学校卒業まで無償化した。それをやることで人口がふえた。糸満市も段階ごとにも拡充することによって若い世代から注目されると思う。そういう助成金のほうも検討してもらいたい。

自治会公民館について



金城 敦 議員

①大里、真栄里両自治会とも老朽化した公民館で、伝統文化の継承や地域活動をしている。地域の一番の願いとしては、建てかえたいと思いがあがるが、一括交付金を活用して建てかえ事業の可能性はあるか。②防災拠点の有する施設であれば可能か。③県内に一括交付金を活用した事例はあるか伺う。

市長 ①②一括交付金の目的及び趣旨に合致しないと思われるので交付金の活用は困難だと考える。

市民健康部長 ③自治公民館としての施設ではないが、恩納村では伝統行事を通じた観光客との文化交流施設を整備している。南城市においては、住民や観光客との文化交流及び災害時に観光客の緊急避難



大里公民館

場所として活用する施設を整備している。

金城 観光交流拠点とか防災拠点として使用するという条件が整えばできると思うがどうか。

総務部長 仮に自治公民館を観光振興に資する施設との形で計画し、申請する場合に可能性としてはないとは言えないと考えている。ただ、現時点において、全容が明らかになっていないので、一括交付金の要件に合えば可能性はあると考える。

金城 両自治会とも防衛省の予算や宝くじの事業でできないか模索中である。その中で一括交付金を活用が可能であれば選択肢もふえるのでぜひ前向きに考えてもらいたい。

市政をただす

一般質問

平成29年第1回定例会では、3月9日、10日、13日、14日の4日間にわたり、19人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧いただけます。

国民健康保険税の納付について



金城 悟 議員

①納付期限。②年齢別の保険税。③豊見城市及び南風原町の納付期限を伺う。

市民健康部長 ①7月から翌年2月までの8回である。②年齢別の保険税については、40歳未満の被保険者の方は、医療保険分と後期高齢者支援金分。40歳以上65歳未満は、医療保険分と後期高齢者支援金分そして介護納付金。65歳以上75歳未満については、医療保険分と後期高齢者支援金を合わせて納めていただいている。③豊見城市は7月から翌年3月までの9回、南風原町では6月から翌年3月までの10回である。

金城 ③納付期限の回数を増やす考えはないか。

市民健康部長 平成30年度から国民健康保険の運営が広域

化される予定になっている。沖縄県主催の作業部会の中で各市町村ばらばらで回数が違うので県内統一すべきではないかと議論している。沖縄県からの方向性とかが示されれば検討していきたいと考えている。

金城 新聞報道に糸満市は国民健康保険税引き上げを検討すると書かれていたが値上げの予定があるのか。

市民健康部長 ここ十数年来国保財政、収支は赤字であり、年々増加している状態である。これ以上、赤字をふやさないために現在の税率が適正なのかどうかを今後分析して、税率の改正を検討する方向で考えている。



国民健康保険制度のパンフレット

那覇空港自動車道の整備事業について



西平 賀雄 議員

①瀬長島入り口の瀬長交差点から以北の那覇空港自動車道の今後の整備計画。②早急に整備ができるよう関係機関へ要請する考えはないか伺う。

建設部長 ①小緑道路として、平成23年度に事業化され、用地買収等が行われている。名嘉地インターから継続した高架道路で瀬長交差点を立体交差し、国道331号小緑バイパスと並行する基地内を平地区間、モノレール赤嶺駅付近を地下トンネル区間として整備が計画されている。②定期的に行われる沖縄総合事務局との建設行政懇談会へ早期整備の要請を行っており、次回においても同様に要請を行うことを考えている。

西平 瀬長交差点から赤嶺駅までを詳しく説明をお願いし



名城ビーチ入口付近の交差点

物件補償交渉を進めている。工事区間については起点側、南波平側の道路幅員が狭いことから、6月より一部拡幅工事を着手する予定である。平成29年度は引き続き用地買収、物件補償を進めてまとまった用地が確保でき次第、随時工事を発注していく。事業期間については平成31年3月完了を目指して事業を推進していきたい。

市民健康部長 ②照明灯つき横断歩道標識については、所管が公安委員会となっているので、糸満警察署を通じて修繕依頼を行っている。

①どういう施設か。②現在、本市が行っている産後ケアの実施状況について伺う。③施設設置についての見解を伺う。

市民健康部長 ①産後の母親の体調不良や育児に対する不安、家族からの支援が受けられない方などを対象に助産師等がいる施設で、母乳ケアや育児相談等を受けながら母親と赤ちゃんが一緒に過ごし、産後の母親の休養と体力回復を図ることができる宿泊型ケア施設である。②出産後の支援が必要な産婦に対しては、保健師、助産師が母体のケアや育児の相談を行う訪問指導等の母子保健事業やファミリーサポート事業等の子育て支援事業を活用し、関係機関と連携しながら産後の育児不安や負担の軽減が図れるよう取り

産後ケアセンター の設置について



伊敷 郁子 議員

組んでいる。③設置については、病院等が実施できる事業等を活用する方向や県内他市の動向を見ながら検討していきたい。

伊敷 出産して1ヶ月以内のケアが大変重要である。この1ヶ月以内で何かできることをやってもらえないか。

市民健康部長 1つ想定されるのは、出産後に産科で空きベッドを利用して休養や指導等を受ける方法があるが、糸満市ではそういったことができない産科が少ない状況があり、まず民間の施設の協力者を探すことが大前提である。制度的には補助事業があるので、そういったものを活用しながら支援できればと考えている。



健康推進課

①市内の幼稚園、小中高校の近くに防犯カメラの設置計画はあるか。②がじゅまる児童センターの近くにも防犯カメラの設置をすることはできないか。

市長 ①平成29年度の新規事業で防犯灯・防犯カメラ等緊急整備事業が計画されているが、事業の詳細についてはまだ確定しておらず、国からの報告は受けていない。

玉村 平成29年度に設置計画があるということだが、どういう場所に防犯カメラを設置したらいいと思うか。

市民健康部長 国のほうから防犯灯、防犯カメラの緊急整備事業ということと情報が入っていて、100%補助で沖縄県の市町村に出せるということは聞いているが、総額

防犯カメラ設置 について



玉村 清 議員



市内の防犯体制の強化が望まれる

で14億円余りということ、糸満市に幾ら来るのか、設置要綱等もまだ定められていない。ただ、緊急を要することから各自治会や学校、児童館を所管する福祉部にもアンケートを取っていて、要望の準備をしているところである。基本的にカメラの設置位置は施設の中ではなくて道路上と考えており、各施設の要望等を踏まえながらどこに設置するのか、また、補助金が幾らになるのかを含めて検討していきたい。予算については補正予算で対応することになると思う。

玉村 市としてそういう要望を出るだけ早目にまとめて、いち早く予算が執行されるよう願う。

市営住宅に入居する 条件について



喜納 正治 議員

県営住宅の入居希望者に対し、連帯保証人の条件が200万円以上と新聞報道されているが、本市の市営住宅の条件はどうか伺う。

建設部長 県営住宅の規定を準拠しているので、連帯保証人の条件は年収200万円以上ある人となっている。

喜納 糸満市民の平均年収は幾らか。

企画開発部長 平成25年度糸満市の1人当たりの所得は、184万8000円、沖縄県が210万2000円となっている。

喜納 糸満市民は所得が低いと言われている。農家の平均年収というのは200万円はない。農家の子が、入居しようにも親では保証人にはならない。子供のために、親が保



入居条件の緩和が求められている

証人になれなければだめだと思う。それを緩和して、親であれば150万円でも、あるいは100万円でも保証人になれるというようなものに緩和する考えはないか。

建設部長 市営住宅は、困っている方々に低廉な家賃で提供するのが本来の目的である。それで県のほうでも保証人の200万円というのは下げる方向で検討することなので、市としても下げる方向で検討したいと考えている。

喜納 自分の子供たちのために親は幾らでも一肌も二肌も脱ぐよと言えるようにもつと緩和していただきたいと思う。

いとちゃんバス・ いとちゃんmini について



當銘 真栄 議員

実証実験を踏まえての今後の対応を伺う。

市長 現在、公共交通事業者といとちゃんバス及びいとちゃんminiを無理なく継続的に運航することができるよう、既存路線バスのダイヤ見直しや統廃合を含めてさまざまな案を検討中である。今後よりよい運行手法について、引き続き公共交通事業者と協議を重ねていく。

當銘 本市の交通空白地帯の具体的な場所を伺う。

企画開発部長 東里、伊敷、兼城ハイツ、パークタウン阿波根、阿波根、武富溝原、西崎工業団地周辺、潮崎の住宅地などが代表的な公共交通空白地帯だと考えている。既存バスで本市内域集落の約74%をカバーしていると計算して



実証実験の終了したいとちゃん mini

いる。また、平成28年度に実施したいとちゃんminiの実証実験時に設置したバス停で本市内域集落の94%をカバーしていると試算している。

當銘 子供からお年寄りまで、空白地帯を隅々まで回るといとちゃんminiをぜひ本格運用してもらいたいと思う。例えば、平成29年度の補正予算でやる考えはあるか。

企画開発部長 いとちゃんminiのような公共交通を継続運行する場合、区域運行の運行計画を地域公共交通会議に諮る必要がある。運行計画が固まったら運行委託料を計上し、補正予算案として年度中に市議会へ提案したいと考えている。

道路行政について



伊敷 幸昌 議員

①真壁小波蔵線の進捗状況と今後の計画について伺う。②字名城地区内市道の名城ビーチ入口付近にある横断歩道の標識について伺う。当該道路は曲線の交差点になっており、横断の確認が困難な場所であることから交通事故の多発地帯になっている。特に夜間は薄暗いため事故が多発している。横断歩道は路面に表示されているが、表示灯板が台風で破損しているため早急に修繕する必要がある。事故の発生事例を紹介すると、昭和年代、人身事故が4件、そして平成4年には死亡事故が1件、最近でも人身事故が発生しており、現在通院加療中である。

建設部長 ①当該道路は、平成28年11月に地権者等への事業説明を行い、現在、用地・



狭間線末整備箇所

建設部長 現在建設部で所管している道路整備は、毎年5ないし6路線の整備をしている。今後については、この状況を見ながら事業化に向けて取り組んでいく。兼城地区についても社会資本整備交付金等の補助事業が活用できないか検討しているところである。事業化の年度については、今の段階で何番目というのは申し上げにくい。

大城 陳情書については、兼城小中学校の校長・PTA会長、兼城ハイツ、兼城区長から連名で提出されていると思う。市教育委員会では、子供たちの徒歩通学を奨励しているのと伺っている。一日も早く安全、安心で通学できるように道路拡張工事をお願いする。

経済観光部長 ①優良種の導入により、子牛の競り価格も順調に推移し、農家の所得向上が図られた事業であると認識している。平成29年度においても一括交付金を活用して、引き続き同事業を継続することとしているが、現在沖縄県からの採択を待っている段階であり、採択され次第、補正予算にて計上し、事業を進めていきたい。②農家からの聞き



糸満市畜産まつり(H28)の様子

取りにおいても必要性を感じており、現在一括交付金を活用した事業化の可能性に向けて取り組んでいる。

山城 勉 議員

畜産業の振興について

①和牛繁殖農家の安定化と子牛のブランド化を進めるための優良母牛導入支援事業は、平成29年度も継続する必要があると思うがどうか。②ヤギ生産農家の経営の安定化とヤギの改良・糸満ブランド化を進めるため、優良雄雌導入の事業化を図り、支援する必要があると思うがどうか伺う。

学識経験者の評価と意見はどうなっているか伺う。①学びの育成アドバイザーの幼稚園配置について。②学習指導支援員の配置について。③人材育成事業の推進について。

教育長 ①「育成目標を単年度ではなく、保育園、幼稚園、小学校と連続して設定し、各段階でレベルを高めながら追い求めることができる体制は画期的だと思う」などとなっている。②「支援員の派遣数が増加しているのは、派遣が効果を発揮し、児童生徒の学習意欲が高まっていることの証左だと言える。成果を具体的に記録することで、支援員の必要性を明確にすることができると思う」となっている。③人材育成奨励金の貸与については、「予算額より決算額が低

潮平地域冠水対策について



新垣 安彦 議員

①県道82号線の潮平交差点前の冠水対策の進捗状況について。②潮平地域の冠水対策の排水能力を向上させるため、白川幹線の実施設計の進捗状況について伺う。

水道部長 ①現在県道82号線の冠水被害の軽減を図るため、国道や県道からの雨水排水を受ける白川1号線の集水ます設置工事を実施している。工事の進捗状況は、平成28年12月19日に工事契約を行い、現在土留め工事を終了し、3月にはます設置を行い、年度内には完成する予定である。②本年度白川幹線の冠水対策事業計画の見直しを進めている。既存の白川幹線の流域は、農業用ビニールハウスの増加や道路整備により、末端白川幹線の排水能力が不足している。



冠水対策が求められる潮平交差点

その対策として、浜原都市下水路や流域を分岐するバイパス幹線の事業計画を進めている。事業実施計画については、平成29年度に事業計画の認可を受け、早ければ30年度に実施設計、31年度からバイパス幹線の工事を予定している。

新垣 潮平地域の冠水解消のために、潮平小学校プールの北東側にある市道交差点の冠水箇所が平成27年度に緊急対策事業等のかさ上げ工事が実施されているが、その後の状況はどうなっているか。

建設部長 当時、この交差点付近が一番低くて冠水していた。児童生徒の通学路でもあることから緊急で交差点のかさ上げ工事を行った。それ以降、現在のところ冠水はない。

子供の貧困対策について



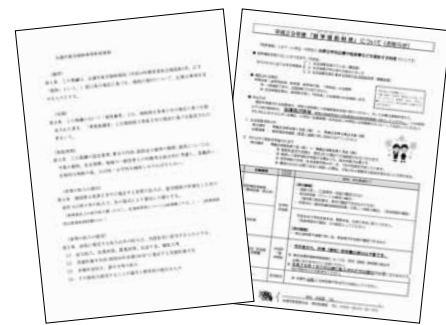
菊地 君子 議員

就学援助について、①学校給食費の今後の無償化について伺う。②教材費や図書費等の減額・免除の方策がないか伺う。

教育委員会指導部長 ①学校給食法第11条経費の負担、2項の給食材料費は保護者負担とするという規程を踏まえ、給食に係る材料費は保護者負担とし徴収している。材料費以外の経費については公費で対応しているが、給食費の無償化については厳しいと考えている。②各学校独自の減額免除はない。

菊地 以前質問した時に給食費の減額や免除について、もっと拡充するように要求したが、その後どうなっているか。

教育委員会指導部長 準要保護世帯については平成27年度までは小学校で7カ月補助、



就学援助制度関連資料

中学校で8カ月補助だったが、今年度からは両方とも11カ月、全月補助になっている。

菊地 入学準備金、支援の制度があるか伺う。

教育委員会指導部長 要保護については大枠の中にある。準要保護に関しては新入学用品費という形である。

菊地 支給の時期はどうなっているか。

教育委員会指導部長 年度末に申請を出して、実際支給されるのは夏休み前ごろである。

菊地 入学前に支給できるような制度に改めるべきだと思うがどうか。

教育委員会指導部長 事務手続き上可能かどうかも含めて調査研究させていただきたい。

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について



砂川 金次郎 議員

いのはなかなか解せない。貸与する金額や人数は、事業者の熱意を表していると言える、力を入れて取り組んでほしい」

「平成28年度から入学準備金貸与を決定したことは、評価できる。その他の奨学金についても給付型となるような財源確保の検討が必要である」となっている。岩崎奨学金の給付については、「基金額の増額に努め、対象者ならびに給付額の増額をしてほしい」となっている。

砂川 人材育成事業の推進について、これからの奨学金は給付型が主流となる。岩崎奨学金給付事業だけでは限界があるので見直すべきだと思う。



教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

①平成25年度で字兼城から農免農道までは整備されたが、農免農道から座波区間が未整備な理由は。②早期整備の陳情が提出されているか伺う。

市長 ①当該道路の兼城側区間については社会資本整備交付金事業で平成20年度から25年度で道路整備を完了している。座波区間整備については、現在整備中の各路線の進捗状況を勘案しながら、事業化に向け整備手法等について座波地区と話し合いながら検討していきたい。②早期整備の陳情については、平成28年11月18日付で座波区長を代表にして、ほか6団体の連名にて提出されている。

大城 現在進められている路線は何件ぐらいで、狭間線の順位というものはあるのか。

市道狭間線について



大城 明弘 議員



今後の子育て支援が期待される

取り組んでほしいと思う。福祉部門と教育部門が連携して、いって政策を実行していく事が求められると思うが、これについてどう考えるか。

福祉部長 改築のない小学校については、地域の実情もあるので、民間施設の活用や小学校余裕教室の活用などを教育委員会と協議しながら検討していきたいと思っている。

①南山グスクを復元するから高嶺小学校の移転が課題となる。今後の進め方を伺う。②平和の道建設に伴う遺跡発掘調査の進捗状況を伺う。③糸満市文化財は、有形、無形合わせて幾つあるか。④サバニの造船・操舵・帆走技術などサバニ文化の文化財指定への見解を伺う。⑤文化課の再設置についての見解を伺う。

教育委員会総務部長 ①3月15日に第2回高嶺小学校移転検討委員会を開催し、移転説明会の報告を行った上で、その委員会の中で検討され、教育長へ意見書を提出する予定となっている。②現在、南部土木事務所と試掘調査に向けて協議、調整を行っており、年度内に名城遺物散布地内での試掘調査を行う予定である。③



糸満市教育委員会

平成28年11月3日現在、有形文化財関係が10件、無形文化財関係は3件、その他は129件である。④本市の文化財の指定・認定・選定及び選択基準上は、伝統的技術等は選定保存技術として、またその技術を体得しているものは選定保存技術の保持者として、指定文化財に準じた扱いになる。そのためにも保存技術選定の前に、サバニを有形文化財等として指定する必要がある。⑤教育委員会内で必要性について議論し、結果によっては糸満市機構改革検討委員会に提案していきたい。

大田 糸満市の文化を守り、発展させるためには文化課の再設置が必要だと思うので、検討のほどお願いしたい。

市長 ①当選後に実現すべき政策を市民に約束するものと捉えている。②説明や報告は行っていない。③リーフレットに誤解を与えかねない内容が含まれていたと感じているが、私の公約は糸満市再生12項目である。そこを評価され、当選したと考えている。

比嘉 リーフレットは、立候補者として選挙公約、あるいは



市長選挙時のリーフレット

市民との約束と市長の政治姿勢について



比嘉 譲 議員

①市長自身が考える選挙公約の意味は。②現在進めている事業と市長選挙中に発行したリーフレット内に記載された情報の違いをどのように市民に説明・伝えているか。③後援会事務所が作成したリーフレット類に示された誤った情報を信じて昭市長に投票した市民に謝罪する必要があると考えるがどうか。

比嘉 後援会が配布したリーフレットを信じた市民は、上原昭の政策に期待して、票を投じたと思う。わびて説明すべきだと思う。わびて説明

市長 私の政策は市の選挙公報、あるいは糸満市再生12項目という形で出したリーフレットに記載したものである。

文化行政について



国吉 武光 議員

本市には多くの史跡が散見されるが、この史跡を地域住民に周知することが必要と考える。そこで、①各地域の史跡を公民館などに案内版の設置や現場での説明版を作成する計画があるか。②市指定文化財「大城家」は築何年になるか。③過去に市指定文化財の修復をしたことがあるか伺う。

教育委員会総務部長 ①これまでに兼城地域、高嶺地域、糸満地域において昭和20年を基準とする各集落の拝所やカーなどを記載した歴史民俗地図を作成しており、この地図を公民館で活用してもらい、身近な文化財として地域住民に周知していきたいと考えている。歴史民俗地図が未作成の三和地区などについては、今後作成次第活用してもらう。



修復が必要な石積み(大城家)

予定である。②指定申請に際して大城家7代目大城満により、明治40年ごろの築造とされていることから、少なくとも110年以上経過しているものと考えられる。③これまで市指定文化財の修復を市よりの補助で行ったことはない。

国吉 大城家の石垣、石積みは現在どういう状況になっているか。

教育委員会総務部長 現在の石積みは、1カ所で膨らんだ状況が見受けられる。

国吉 こういった箇所は雨で地盤が緩んで崩れる可能性がある。本市において、なくてはならない重要な文化財なので、修復については所有者と十分調整してもらいたい。

いとちゃんバス、いとちゃんminiについて



玉城 安男 議員

選挙公約のチラシにいとちゃんバスはやる必要はない、お金の無駄遣いであると言っているが、今でもその考えか。

企画開発部長 限られた市民の税金を効率的に利用し、市民サービスの向上を図らなければならぬという観点から、今後もよりよい運行手法について、引き続き本格運行に向けて検討し、無駄が生じることないようにする必要があると考えている。

玉城 本格運用ができなければ、補助金返還の可能性があると総務委員会で説明があったと聞いたが、返還になった場合、幾らの返還金になるか。

企画開発部長 平成24年度から平成28年度までの当事業の金額は、約2億625万円の見込みである。一般論として



今後の交通弱者対策が求められる

実証実験の結果を踏まえ、正当な理由なしに実証実験の中止、または本格運行を断念した場合は、双方の返還を求められる可能性がある。しかし、実証実験の結果を踏まえた上で、正当な理由で本格運行を中止した場合は、必ずしも返還は生じないのではないかと考えている。

玉城 市民は交通弱者対策として本格運用を待ち望んでいる。すばらしい事業なので、一日も早く本格運用に取り組んでほしいがその考えを伺う。

企画開発部長 よりよい運行仕様について、引き続き公共交通事業者と協議を重ねていきたい。

子育て支援行政について



浦崎 暁 議員

市内の小学校内における学童保育実施について、①その目的について伺う。②市内小学校の新築、改築校舎における学童保育の設置について、米須委員会と協議をしながら、米須小学校、兼城小学校、糸満南小学校敷地内への設置を検討していきたい。

浦崎 市内の既存小学校にも学童保育をきちんとつくって、子供の安全と保護者の負担というものを軽くしていくというようなことにぜひとも今後